

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

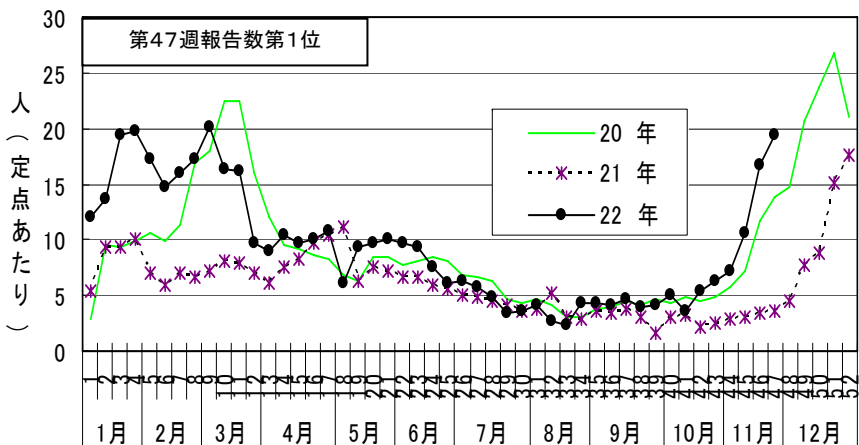


KAWASAKI CITY

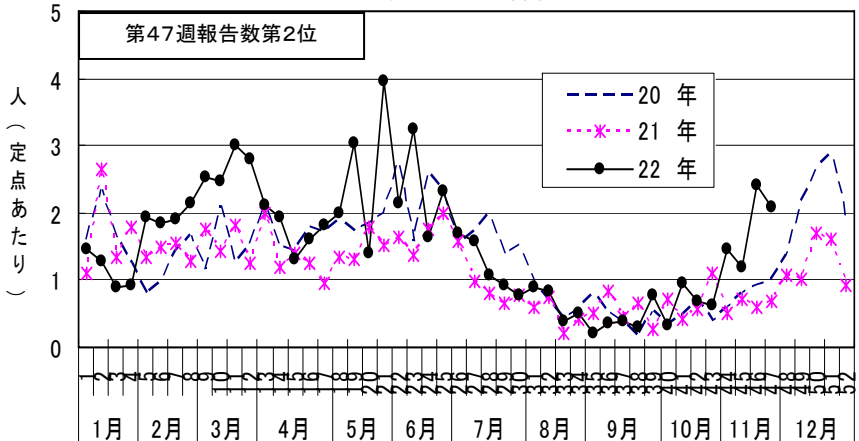
平成22年11月22日（月）～11月28日（日）〔平成22年第47週〕の感染症発生状況

第47週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)水痘 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎は定点あたり19.36人と前週（16.73）より患者報告数は増加し、流行発生警報基準値（定点あたり20人）に近いレベルとなっております。さらに、平成11年以降の同時期と比較すると、今年は平成18年・平成14年に次いで3番目に多い報告数となっております。
 水痘は定点あたり2.09人と前週（2.42）より患者報告数は減少しておりますが、平成11年以降の同時期と比較すると、今年は最も多い報告数となっております。特に多摩区においては定点あたり7.80人と流行発生警報基準値（定点あたり7人）を超えております。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



攻略のポイントは
手洗い・消毒・加熱です！

目に見えない敵“ノロウイルス”を攻略しよう！！

川崎市内で感染性胃腸炎（この時期はノロウイルスによるものが中心）の患者報告数が増えていますので、次の攻略法を身につけましょう！！

STEP1 手洗い

- ①石鹸を良く泡立て、手のひらどうしをこすり合わせる。
- ②両手の甲もこすり合わせる。
- ③指先、爪の間も念入りに洗う。（ブラシ推奨）
- ④両指のまたをこすり合わせ、指の間を洗う。
- ⑤親指を付け根から指先まで、ねじるように洗う。
- ⑥手首を洗い、清潔なタオルや使い捨てペーパーで拭く。
 ※常に爪は短く切り、手洗い前には時計や指輪ははずしましょう。

STEP3 便やおう吐物の消毒

☆処理方法☆

感染者の便やおう吐物にはノロウイルスが含まれており、それが乾燥するとウイルスが舞い上がります。これが口に入ると感染してしまう可能性がありますので、便やおう吐物はすぐに処理しましょう。

- ①便やおう吐物を静かにペーパータオルでふき取る。
- ②0.02%の次亜塩素酸ナトリウム（家庭用漂白剤）で浸すよう消毒する。
- ③10分ほど置いた後に、水拭きする。

処理するときの服装チェック！

使い捨てマスク、エプロン、手袋は必須！
 メガネやゴーグルを着用するとより安心です。

拭き取ったものも、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを入れたビニール袋に密閉し、廃棄しましょう。

STEP2 加熱

食品等の加熱の場合は「中心部」までこの温度で加熱する必要があります。



ノロウイルスを殺すには
85℃で1分以上
 加熱する必要があります。

～調理する人の心得～

- ①下痢やおう吐などの症状があるときは、調理をしない。※症状がなくなっても、最低でも1週間は便にウイルスがいる
- ②日頃から手洗いや体調管理を徹底する。
- ③直接食品に触れるときは、使い捨ての手袋をする。

